

令和2年度 佐志小学校評価計画

1. 前年度 評価結果の概要	<p>○校内研究にしっかりと取り組み、全職員で授業スタイルの共有と授業力向上に努めた。実践を深め、学力の個人差に対応していくことが課題である。</p> <p>○地域の人材を活用し、地域から学ぶ活動をカリキュラムに位置づけた。地域から学び考えたことの発信ができるカリキュラムの改善をすることが課題である。</p> <p>○学校教育活動全体の中に人権教育を位置づけ、心の教育を推進できている。「人にやさしい言葉づかい」を意識させ、自尊感情の醸成をはかる取組の工夫が必要である。</p>
2. 学校教育目標	持続可能な社会の創り手となるたくましい児童の育成 ～めざす子どもの姿～ 「気づき、考え、実行する」子ども
3. 本年度の 重点目標	<p>○9年間を見通した、小中連携の授業スタイルの確立と共有。共通した取組を考え、学力向上を図る。</p> <p>○学校教育全体において人権教育を推進し、合い言葉「人にやさしい言葉づかい」を意識させ、自尊感情を高める。</p>

4 重点取組内容・成果指標

(1) 共通評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上 (知)	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上	<p>・導入での学習意欲向上。展開での話し合い活動の持ち方やワークシートなどの工夫。終末による、ふりかえりの時間の確保。</p> <p>・朝の特設タイムや授業はじめによる漢字・計算を計画的に実施し、実行。</p> <p>・授業の中で、目的や意図に応じて、話し合うべき必然性を設ける。</p>
	○朝の特設タイムの設定 (スキルタイム、朝の読書) ○さし人学習の充実 (ひとみタイムの設定)	○期末テストの漢字・計算テストにおいて、60%以上の点数を目標とする。 ○話し合い活動のアンケートにおいて、話し合い活動が有効であると感じる児童70%以上	
●心の教育 (徳)	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○縦割り活動後の振り返りで、活動に対して肯定的な回答をした児童が80%以上。	<p>・縦割り活動を年10回以上実施し、その都度振り返りを行う。</p> <p>・月1回の「心のアンケート」を実施し児童の実態を把握する。</p> <p>・「生徒指導・教育相談協議会」を月1回実施し、情報共有と組織的対応を図る。</p> <p>・事案発生時には「いじめ防止対策委員会」を開き、組織的に早急に対応する。</p> <p>・児童が記録するワークシートや日記等を「キャリアパスポート」に蓄積し、振り返りと見通しができるようにする。</p> <p>・児童の資質・能力を育むために特活・総合・道徳等で計画的に授業を実施する。</p>
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校に行くことが楽しい」と回答する児童が80%以上。 ○「児童が楽しく学校に通えるような指導・支援をしている」と回答する職員が95%以上。	
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて取り組もうとする教育活動 キャリア教育	◎「自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫できた」という児童(6年生)が80%以上	
●健康・体づくり (体)	●「運動習慣の改善や定着化」	○児童が主体的に運動に取り組むことができる環境づくりに努め、授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童80%以上を目指す。	<p>・体育委員会を中心として「スポーツチャレンジ」への参加を全校に呼びかけ推進する。</p> <p>・なわとびタイムやマラソントimeを実施し、記録カードの配布や、意欲向上につながる掲示、放送でのよびかけなどを行う。</p> <p>・「ほけんだより」や掲示物等で、歯磨きや虫歯治療に対する、児童や保護者の意識を高める。</p> <p>・個別に受診勧告をし、虫歯予防や虫歯治療へとつなげる。</p> <p>・「食に関する指導の年間計画」に基づき、各学年に応じた指導を確実に実践する。</p>
	●「望ましい生活習慣の形成」	○12月の時点で、虫歯の処置完了児童の割合を60%以上にする。 ○好き嫌いをしないことと食事のマナーを柱に食育の充実を図る。	
●業務改善・ 教職員の働き方 改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 【月45時間】	<p>・定時運動日の設定(金曜日)</p> <p>・会議の提案等は、PDFデータにて、パソコンを活用。</p> <p>・ワークシート類は、共有フォルダーに入れ、自由に活用しながら改善。</p>

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○特別支援教育 の推進	○(学校独自重点取組・任意) 教員の専門性と意識の向上	○(学校独自成果指標・任意) 特別支援に関する意識が向上した教員80%	<p>・校内教育支援委員会を年に6回以上開催し、情報の共有を図る。</p> <p>・個に応じた支援方法を研修し、特別支援に対する見識を深める。</p> <p>・年度当初に個別の支援計画や指導計画を活用して共通理解を図り、個に応じた対応を行う。</p>